

近代政治之概観
(二十一年)

之予概論
(二十年)

本間文庫
文庫 14
A111
11



文庫14
A111
11

文庫概論

二、主子の研究

三、主子の別—詩と散文

四、律則

五、之等の外に對する區別—目的

五、(3) — 方法上

文庫概論 (昭和四年九月十日迄一年間の巻)



下、文庫の研究

文學の研究といふ事は文學を味ふといふ事と文學を理解す
といふ事とを言ふしこの其前者は唯僅く多くは語を採
むといふ外は無い ~~傳~~ 之の文學の本來であるけれども他の方
に我々の知識を以てしてある事柄に對し其うす地
を了解せんといふ。能くして之を以てして ~~實~~ である
人々の其知識の程度は種々であるが之の無いものは無い。即ちこの
以の故に其先ず何れも實際に於ては人々の其知識の
はるかに差があるにせぬ。不意に前掲紙の如く臨み、

文学の歴史

文学の歴史の区別——詩と散文

自然の情の懐疑が、ヤガこは格の目録——け三別は自然

カ三、純格の事

自然の情と人おの純格、——世に傳はれる自然の純格に
よりんことす、努力、——ある純格の意義、
を整理して、
しめる。——併し、
自然の情と人おの純格、
の区別を、
しめる。

カ、非字の外に非字に別——目的に別

これは *teleology* 即ち ~~非~~ 材料方法の上から非字と

非字と違ふと云ふこと *teleology* 即ち目的の上から非

字と非字と違ふと云ふことあるは、非字の目的の上から非

字と、非字と非字とに別れ、非字と非字と非

字とに別れ、非字と非字とに別れ、非字と非字と

非の如き、非字の非字と非字とに別れ、非字と非字と

⑦ 非字と非字とに別れ、非字と非字とに別れ、非字と非字と

近代政治の発展

近代の文藝論 (四十年九月)

下 文藝の近代に到る大勢



Hellenic



Hebraic

Gothic

Byzantine

Renaissance

と云ふ順序を以て伊、英、仏と中心を移し、
この順序に依る。

十九世紀文藝論の概観

(4)

Impressionism / Romanticism / Naturalism / Pre-Expressionism / Realism / Symbolism / Realism & Idealism / Restoration /

Impressionism の 流 (11 稿)

(3)

Impressionism の 流. 凡そ研究に於て資料に於て往々程の如く
 此の如く Impressionism 研究は科学的程の発展からして
 一、各流の流 / 整理は各流の如く要求であるが併し他日
 は漸くこれ / 各流の如く / 大流の如くを言つて置かば
 Impressionism 流の Impressionism 流に 根本に 前記の如く
 の要求を以てして通是として終る。従つて之を鏡の如く
 写し取ると是れ / 通是として終るといふ別である。

① 凡そ研究に於て資料に於て往々程の如く

征

Veology

神	而	敬	赤	世	生	此	好	用	元
於	何	的	神	化	理	名	人	人	名
何	的	的	之	化	的	立	主	的	
						我	放	我	既

現
實
的

科
學
的

可
能
的



